



2018年で100周年

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
平成31年2月13日

民間の力によって河川環境が向上しました ～ 千曲川・犀川の河道内樹木の公募伐採を実施しました ～

千曲川・犀川では、個人利用者の協力を得て、公募伐採を活用した河道内樹木の適切な管理に取り組んでおり、今年度の伐採作業により河川環境の改善が進んでいます。

伐採作業は、主に外来種であるハリエンジュを対象に、70区画、約21,000m²を行うことで、河川管理上の問題となる河川巡視における視認性が向上し、不法投棄の防止などが図られています。

【公募伐採後の状況】

①長野市綱島地区 (長野大橋下流) 21区画



伐採前



伐採後

②坂城町上五明地区 (坂城大橋下流) 35区画



伐採前



伐採後

③松本市波田扇子田地区 (下島橋下流) 14区画



伐採前



伐採後

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・新建新聞社
- ・長野経済新聞社
- ・日本工業経済新聞社長野支局

【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
 千曲川河川事務所 026(227)7611
 副所長(管理) 万行 康文 (まんぎょう やすふみ)
 管理課長 長谷川 徹 (はせがわ とおる)



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック



千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

【河道内の樹木伐採の目的】

河道内の樹木は、生態系の保全や良好な河川環境を作り出している一方で、樹林化により洪水時における水位上昇を引き起こしたり、洪水により樹木自体が流出して橋梁等で閉塞を招く恐れがあります。また、樹木があることにより、河川巡視における視認性が悪化したり、不法投棄の温床になる恐れもあります。

河川環境の保全や適正な河川管理を実施するためにも、河道内樹木の適切な管理が重要となります。千曲川河川事務所では、河道内の樹木管理の一つの手法として、民間の力を借りた公募伐採を実施しています。



流木化した樹木



不法投棄の状況

※写真はイメージです